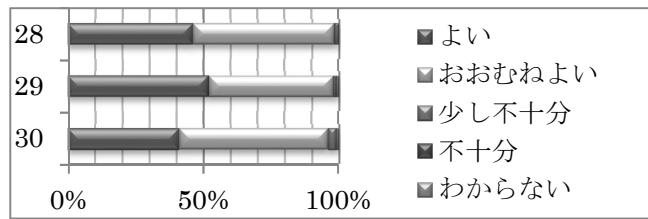


学校教育活動に関する保護者アンケート
ご協力 ありがとうございました

お忙しい中、ご回答をお寄せいただき、本当にありがとうございました。

集計結果の概要と今後の取組等をお伝えします。

<グラフの見方> 3本のうち一番下が今年度です。



<p>教育目標や教育方針を 分かりやすく伝えているか</p>	<p>めざす子ども像の実現に 向 け て の 取 組 は</p>	<p>郷土(自然・歴史・文化)のよさを 子どもたちに伝える取組は</p>	<p>←本校が「よりよく生きる～夢 笑顔 学ぶ瞳～」をめざして、ふるさと教育を中心に教育活動に取り組んでいることに概ねご理解いただいております。今後とも様々な機会をとらえて伝えるとともに一層教育活動に取り組んでいきます。</p>
<p>基礎的な内容が身に付く ような指導の工夫は</p>	<p>複数の教員による指導 (チームティーチング)は</p>	<p>毎日の読書タイム(昼 15 分 間実施)について</p>	<p>←本校の基礎的な学力を伸ばす「はげみ学習」「全校漢字・算数テスト」「毎週の小テスト」「毎日のステップアップタイム」や「読書タイム」に、大変よくご理解をいただいております。今後と</p>
<p>基礎学力向上のための 取組は</p>	<p>英語活動(1～4年生)、外国 語活動(英語:5・6年生)は</p>	<p>も「基礎的な内容が身に付くような指導」「複数の教員による指導」をより一層、充実していく必要があります。また、英語活動や外国語活動は、「外国語活動は、楽しく行っているようなのでよいと思う。」「英語学習のあった日は、ALTの先生と楽しく学習してきたことを話してくれます。」という記述もありました。今後とも外国人講師(ALT)や羽城中とも連携し、さらに充実を図っていきます。</p>	
<p>お子さんは、学校生活や 活動を楽しんでいるか</p>	<p>教職員は、お子さんのこと をよく理解しているか</p>	<p>教職員は親身になって 相談にのっているか</p>	<p>いじめのない学校を 目指しての取組は</p>
<p>(1)学校で児童や職員から 明るい挨拶をされるか</p>	<p>(2)学校に来た際、児童や 職員 に 挨拶 して いる</p>	<p>←↑概ね「子どもたちが安心して生活できる学校である」という数値ですが、「お子さんのことをもっと理解して欲しい」「親身になって相談できる体制であって欲しい」という考えをおもちのご家庭もあります。 引き続き一人一人のお子さんに寄り添い、「認めて伸ばす指導」を充実させていきたいと考えます。</p>	

交通安全や不審者対応など、安全面での指導は	学校内の環境、学習環境の整備は
PTA授業参観やみんなの登校日(自由参観日)のもち方は	教育活動についての情報発信は(通信、HP等)

←「安全安心な学校」という面で、昨年よりさらに評価が上がっています。学校の取組だけでなく、保護者や地域ボランティアの皆さんの見守り、学校周辺や通学路の安全についてのご理解のたまものと考えます。

各行事(「運動会」「修学旅行」「宿泊学習」「学習発表会」)のもちかたについては、「概ねよい」との評価でしたので数値は掲載しておりません。今後も、マンネリ化しないよう、毎年、見直しをして、内容の改善を検討していきます。

PTAのもち方についても、「概ねよい」との結果です。校報、学年通信、給食だより、保健だより等の通信やHP、飯田川ならではの有線放送等を用いた情報発信を、各ご家庭でしっかり受け止め、ご理解をいただいていることに感謝します。

今後、力を入れてほしいのは？上位10項目 %

1↑	教科の学力向上	38.3
2↑	礼儀や言葉等の指導	32.3
3↓	体験的な学習	29.3
4→	英語活動	20.4
5↑	体力づくりや運動	18.0
6→	道徳教育	15.6
6→	福祉・ボランティア教育	15.6
8→	いじめ・不登校対策	14.4
9↓	少人数・個別指導	13.2
10↑	基本的な生活習慣	11.4

←昨年は「体験的な活動」が1位でしたが、今年度、最も多かったのは「教科の学力向上」でした。子どもたちの主体的な学びになるように授業を工夫し、確かな学力が定着するよう、努めてまいります。

そのほか、「体力づくりや運動」「礼儀や言葉等の指導」「基本的な生活習慣」への期待値も昨年より高くなりました。「体力づくりや運動」では、行事や授業の中で、取組を工夫していきたいと思えます。

また、約3分の1の方が「礼儀や言葉等の指導」を期待されています。「思いやりにかける乱暴な言葉づかいが気になる」「あいさつを含めて礼儀や立ち振る舞いなどに力を入れてほしい」などのご指摘やご意見がありました。「根気強く、まわりの大人が思いやりのある言葉がけをして、その場で直ちに教えていくことが、より一層、必要になってきている」という危機感をもち、上手に表現し人と関わる子どもを育てたいものです。

<そのほか、主な自由記述から>

▲運動会…午前中に終わってほしい。もう少し暖かくなってからできないか。町内ごとのテント設営は必要なのか。

▲いじめは、とても難しい問題です。学校に問題があるという訳ではなく、私たちを含むそれぞれの家庭の中に、その芽が、また、それをなくす機会があると思うからです。

▲児童からの挨拶が少ない。児童に挨拶をしても返ってこないこともある。

▲下校時間が遅い。帰っている最中真っ暗になる。冬場だけでも変えられないか。

○いつも明るく元気にあいさつをしているので、気持ちがいいです。

○地域の方との交流が多いのがとてもよいです。野菜や米作りなどを通して、いろいろ教えていただいたことをいつも楽しそうに話してくれます。

○どの学年も地域の方々の協力の下、野菜を育てたり、田んぼづくりをしたり、郷土のよさを感じていると思います。

○子どもたちは、先生に声をかけられるとうれしいと思うので、複数で授業を進めていくのはとてもよいと思います。

○上級生との関わりを定期的につくってくださっているので、上級生に優しくしてもらったという話をよく聞きます。優しくしてもらった経験は、きっとこれからの人との関わりにつながっていくと思うので、とてもいいなと思います。



このほかにもご提案やご感想等を寄せていただきありがとうございました。

「きょういくは、協育・共育・今日行く！」です。今後とも「チーム飯田川」で育てていきましょう。